令和８年度　第１回　伊那市博物館協議会　議事録

日時	令和８年８月６日（木）　午後１時２５分から午後２時３０分まで
場所	高遠町地域間交流施設（高遠町歴史博物館隣）
出席者 （敬称略）	【委員】 田中秀之、福澤初子、千賀義博、小松博康、戸谷省吾 【欠席委員】 丸山　舞、冨岡隆二、平山直子 【教育委員会】 福與教育長、北原教育次長、柴生涯学習課長兼文化施設係長、 捧創造館館長（学芸員）、中山歴史博物館館長兼伊那市民俗資料館館長、 保科創造館副館長、福澤歴史博物館学芸員兼伊那市誌編さん室主査

議事内容

（進行）課長

1　開　　会　（課長）

2　委嘱書の交付　　（机上交付）

3　教育長あいさつ　　教育長

本日、伊那市博物館協議会を開催し、ただいま委嘱書をお渡しさせていただいた。2 年間の任期ということでお世話になるがよろしくお願いしたい。本協議会は博物館法に基づいて設置されており、現在伊那市では博物館法に当てはまる施設が 4 施設ある。高遠町歴史博物館、伊那市民俗資料館、伊那市創造館、そして信州高遠美術館の 4 施設だが、この協議会で扱っていただくのは、歴史博物館、民俗資料館、創造館の 3 施設についてご協議いただき、皆さんから意見を頂戴し、改善に努めてまいるための会議である。各文化施設は、例年、連携し合いながら様々な展示をしてきている。現在も、歴博と創造館では戦争と平和に関わった展示をしている。今年は東京藝術大学と高遠町から伊那市へと続いて 40 周年の長い間の交流があり、40 周年と言うことで創造館、歴史博物館で伊澤修二を中心に企画展を開催する予定になっている。また、歴史博物館は本年 9 月に開館 30 周年になる。記念してデジタルアーカイブ事業で集めた写真から歴史博物館の歩みを振り返る写真展を 9 月 19 日から来年 3 月 7 日まで企画している。本日の会議では昨年度の事業報告から今年度の事業計画について資料に沿って事務局より説明させていただく。本年 2 月に博物館協議会を開催し説明したことと重複するがお許しいただきたい。新任の委員の意見も頂戴できればと思う。頂いた意見を参考に多くの皆さんに利用していただける施設になるように努めていく。話は変わるが、駐車場のイメージが変わったがお気づきか。最近まで高遠ダムの修復大事業が行われ、用地を長年お貸ししてきた。工事が終わり駐車場をきれいに整

備していただけるという話があり、このようなきれいな駐車場にしていただいた。この隣に高遠ダムの管理事務所があるが、そちらへのアプローチも非常によく、ミニ公園が設置された。高遠ダム湖が非常に良い景色に見える場所になっている。お時間があればぜひ見てほしい。限られた時間ではあるが、本日はよろしくお願いしたい。

4　自己紹介　　委員　→　教育委員会事務局

5　博物館協議会について　　次第の裏面に博物館協議会の条例記載

この協議会は、伊那市歴史博物館条例の第13条に規定されている。委員については、それぞれの団体から推薦をいただき、定数や任期についても決められている。

6　正副会長の選任について　　歴史博物館条例の施行規則で決められている

事務局一任　　会　長　千賀義博（伊那市公民館運営協議会より推薦）

副会長　冨岡隆二（伊那市校長会より推薦）

・会長あいさつ

西箕輪公民館では昨年「平和企画80周年」という企画で6つのイベントができ、大盛況であった。農耕隊であったり朝鮮関係のもの等を行った。ところが戦後81年になってどうしようかと、イベントを立ち上げることはできるが、その後の精神を繋いでいくという難しさを感じている。その中で、この3つの館では地域の歴史や文化、文化財の保管、掘り起こしや伝承など日常的に取り組まれていて、未来に向けて幅広く人・物事の継承に向けて取り組まれる大切な役割を担われている。専門性を活かされて取り組まれている皆さんの取り組みに学んでいきたいと思う。。

7　会議事項　　議事進行　会長

（1）令和７年度事業報告について　（資料№.１）

・資料№.１に沿って令和７年度事業報告を行う。

歴史博物館事業報告（歴博館長）

民俗資料館事業報告（歴博館長）

創造館（創造館館長）

令和７年度会計報告　歴史博物館・民俗資料館（歴博館長）

創造館（創造館副館長）

・質疑、意見　特になし

（採決）令和７年度事業報告につて、原案のとおり承認される。

（2）令和８年度事業について　（資料№.2）

・資料№.２に沿って令和８年度事業計画について説明を行う。

歴史博物館事業計画説明（歴博館長）

民俗資料館事業計画説明（歴博館長）
創造館事業計画説明（創造館館長）
令和８年度予算説明　　歴史博物館・民俗資料館（歴博館長）
創造館（創造館副館長）

・質疑、意見

（委　員）

熊本で大きな地震があったが、事業計画の中で防災訓練や避難誘導等が入っていないが、年１回は博物館も創造館もやられた方が良いのではないか。当然、館長が防災隊長になると思うが、例えば中山館長は４月から館長になられて、直ぐに観桜期のお客様が沢山来ることが控えている。できるだけ早めに、以前からいる方は良いが新しい館長や新しい学芸員が入った場合は、４月の観桜期の前に１回防災訓練をやり、何処に逃げるとか、いつ何時災害が起きるか分からないので、事業計画の中に入れておいた方が良いのではないか。

私は、高遠に住んでいて歴史博物館は民俗資料館に携わらせていただいている。秋のわくわく教室と冬のわくわく教室とあるが、秋はここの会場で子ども達を集めて色々なことをやっていて良いが、冬は国少まで行ってそりをやったりすることがどういう形で博物館の事業とリンクするのか、しかも土曜日か日曜日にやると博物館を休みにしてしまうので、博物館を休みにしてまでも子ども達を連れてみんなで行くのは、例えば博物館の三原則というのがあるが、それがどういう形で活きているのか疑問に感じている。冬は考慮された方が良い、予算の関係もあると思うので。

関係ない話なのだが、ここにいらっしゃる方は学識経験者ということで問題ないと思うが、１年位前に外にいたらおばあさんに「トイレは何処？」と聞かれた。駐車場に外トイレがあるが、表記に日本語が無い。確か文科省のガイドラインでは外国人にも分かりやすく説明するようにと書いてあるが、「ＴＯＩＬＥＴ」と英語で表記されている。韓国語と中国語の表記もあるが日本語は書いてない。95％以上の方が日本の方が来られて、おばあさんが私に「トイレは何処ですか？」と聞いてきた。私たちは英語表記でも分かるが、そのようなところも考慮して日本語を大事にした方が良いのではないか。お年寄りや子どもにも分かるだろう、で良いかと思う。

創造館は入館料が無料。博物館法の 23 条で入館料は無料とする、やむを得ない場合は有料でも良いという博物館法があるので、維持するのが大変なのでということで、入館料を徴収しているわけだが、教育委員会としては、今後も赤字でも文化施設だからと、最終的には法規通りに無料化するという方向はあるのか。

（事務局）

避難訓練のお話、ありがとうございます。各施設では避難計画を作り実施している。こちらの事業計画に載っていなくて申し訳ない。来年度以降、載せるようにしたい。

（事務局）

冬のわくわく教室の件ですが、ご指摘のとおり冬に国少まで行ってというのが、スタッフの中でも意見があり、今年の冬は国少には行かないことにした。別の事を検討する予定

だが詳細は未定。

（委　員）

せっかく来たのに見られないというのは如何なものかと思った。

（事務局）

トイレの件は、確かに外トイレの表示は日本語で「便所」とは書いてないがマークはある。

（委　員）

マークはあっても「便所」というのはどうか。「トイレ」とカタカナで書いてある方が良いと思う。今は「ＷＣ」は使わないらしい。和製英語なので。おばあさんには読めなかった。「ＴＯＩＬＥＴ」と書いてある。今後の検討としてほしい。

（事務局）

無料化については、展示物の適切な保存・管理そして施設の維持管理等に、多額の経費を要しており、現在も入館料（または使用料）をいただいている。ご意見にありましたように、安易な使用料の引き上げはせず、より一層の効率的な施設運営に努め、現行の料金体系とサービスのバランスを維持しながら、持続可能な博物館運営を行っていく。

（委　員）

民俗資料館もそうだが、前と比べると観桜期のお客が少ないから必然的にとなるが、民俗資料館の入館者は平日にはほとんどいなくて、ほとんど観桜期の駐車場兼来た人の入場券になっているのが現実だと思う。今は上野でやるなどいろんなところで桜まつりをやっている。昔は「高遠」といえば「さくら」でみんな来られたが、観光客が少なくなったことに対しては館長からも話があったが、どうしても苦しいということになる。

（会　長）

どうしても博物館法の関係もあるが、、掲示物も含めた地域の皆さんが利用しやすい博物館にしてほしい。

（委　員）

決算の所でもそうだが、予算の所で、それぞれの施設の歳出について人件費は入っているのか。全部？

（事務局）

入っている。

（委　員）

先程、年数の話もあったが、創造館が 16 年、歴史博物館が 30 年、民俗資料館も 20 数年経っていると思う。入館者推移とか、色んなものをまとめたものを作ってもらいたい。ちょうど市誌も編さんしているので資料になると思う。人数だけではなく、行ってきた事業なども含めてまとめをしていってほしい。

（事務局）

歴史が出てくる資料が図書館では作って協議会に諮っている。この協議会にもお示しできるように考えたい。

（採決）令和８年度事業計画について、原案のとおり承認される。

（３）その他　　特になし

８　その他

・進行を課長に交代。全体を通して質疑、意見を求める。

（事務局）

この場をお借りして教育委員会の事業を宣伝させていただく。お手元に伊那市誌のチラシを置かせていただいている。教育委員会では伊那市誌の編さんを進めており、現在、3 冊発刊している。特に概説編については 7 月の頭に発刊されたばかりの本になる。市誌というと難くて見にくいと思われるかもしれないが、今回の市誌はイメージを一新し、カラーや写真を取り入れ、中学生でも読める本を目指し編さんしている。今後はこのような編さんはできないものと思っている。今、多くの執筆者の方が懸命にこの伊那市の事を残そうと作っていただいている本になる。ぜひ、お手元に取っていただいてご覧いただきたい。この後、歴史博物館の方で企画展をご覧になるということだが、博物館でも販売している。1 冊 2,000 円となっているので、ぜひお買い求めいただき、伊那市の事を学んでいただきたいと思う。

９　閉会　　課長